

東京都 JRAT 第 5 隊 活動報告

PT2 名(公立昭和病院・河北総合病院)

3月3～5日の3日間、石川県金沢市にある、いしかわ総合スポーツセンター（1.5時避難所）にて災害リハビリ支援活動（JRAT活動）をおこなってきました。本来は様々なスポーツ大会が開催されるメインアリーナに240のテント、サブアリーナには仕切りが作られ、2人部屋120床という避難所の光景を目の当たりにしました。スポーツセンターは主に能登半島で被災した施設入所者の方を一時的に受け入れる役割を担っていました。しかし転院や入所が滞り、避難所生活は長期化している現状がありました。発災から3ヶ月経過していることもあり、メインアリーナでは集団体操やアクティビティスペースでの活動が定期的に行われていました。また介護度の高い方を受け入れているサブアリーナでは地元金沢の医師とラウンドを行い、不活動に伴うフレイル予防をおこなったり、段ボールベッドで立ち上がりが困難な方へベッド手すりを設置したり、避難所で活動量を維持するために歩行器や杖の選定をおこないました。リハビリニーズのある方が多いなか、1.5時避難所という役割であるが故に、もどかしさもありましたが、災害時活動の継続性・平等性について改めて考えさせられる機会となりました。他県のリハビリスタッフと協力し活動を無事終えることができました。

